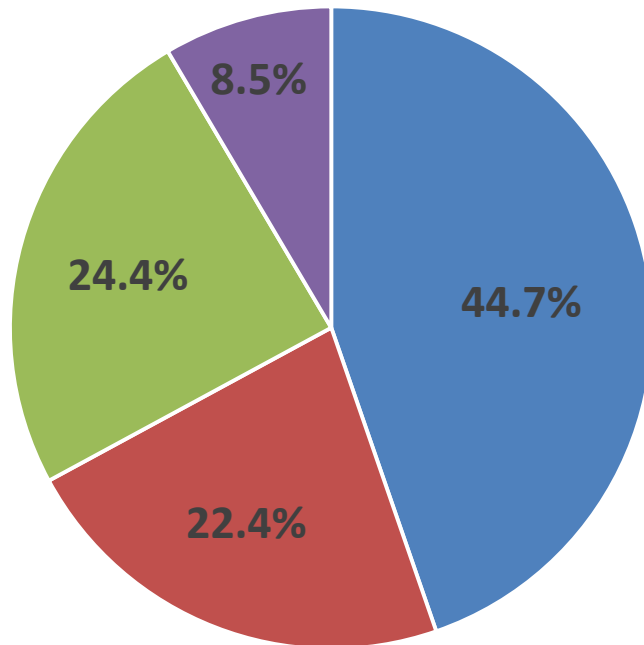


# 建設業一人親方の働く実態等に関するアンケート調査結果 (平成30年度実施) ～安全衛生を巡る状況～ (令和元年8月8日修正)

※資料の一部に誤りがあったため、修正したものを改めて掲載させていただきます。

## Q.仕事の受注(請負)方法について教えてください。

仕事の受注(請負)方法について、「①主に特定の元請負業者から出来高払いの仕事のみを請負う」(44.7%)、「③ ①以外に発注者から直接仕事を請け負うことがある」(24.4%)、「②主に特定の元請業者から材工込みの仕事のみ請負」(22.4%)という結果であった。



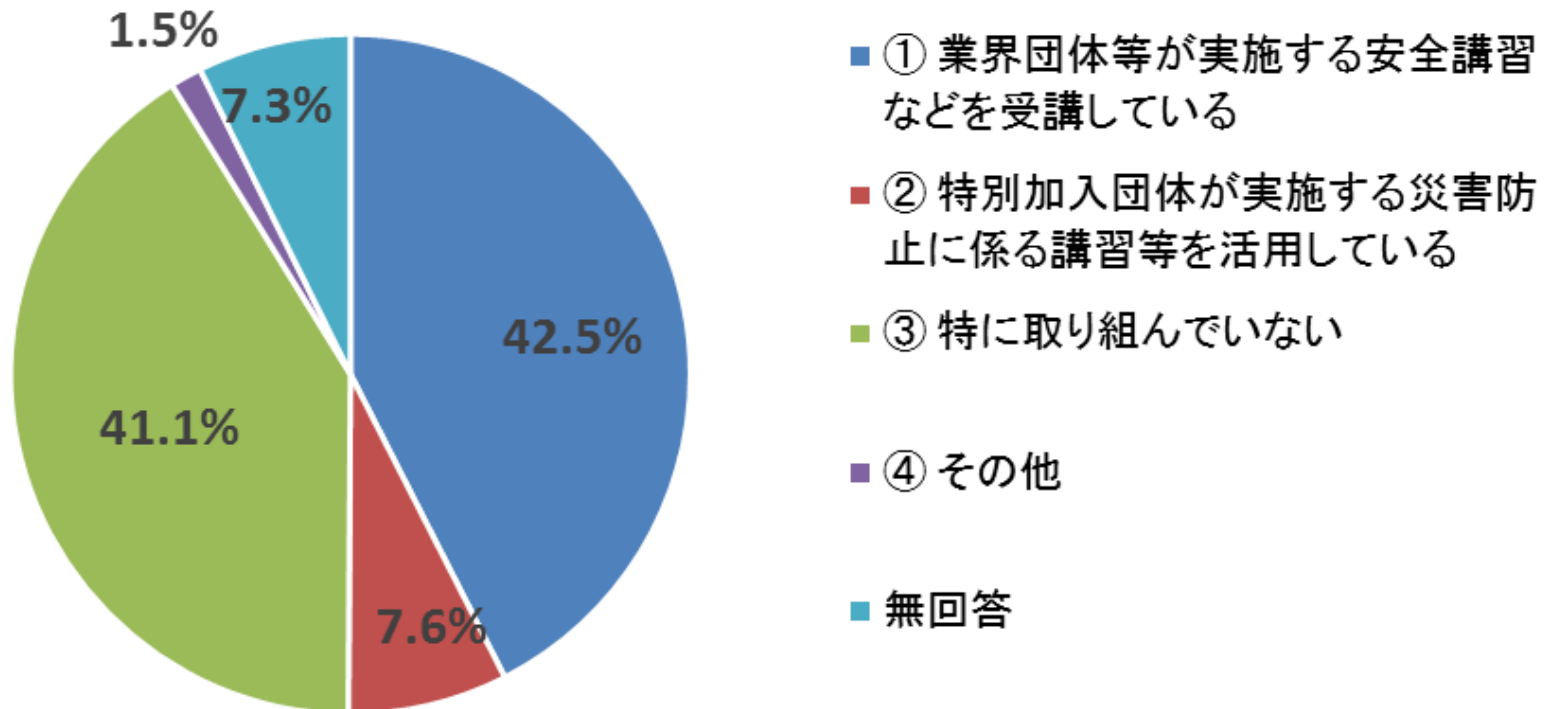
- ① 主に特定の元請け業者から出来高払いの仕事のみ請け負う
- ② 主に特定の元請け業者から材工込みの仕事のみを請け負う
- ③ ①以外に、発注者から直接仕事を請け負うことがある
- 無回答

(n=42,384)

# 災害防止の取組状況

Q.災害防止のための取組みについて教えてください。

「特別加入団体が実施する災害防止に係る講習等を活用」(7.6%)と合わせると、約半数が災害防止のための取組みを行っている。



(n = 42,384)

# 災害防止の取組状況

Q.災害防止のための取組みについて教えてください。

【「④その他」として記載された主な内容】

- ・元請業者等の安全大会に参加している。
- ・自社で安全衛生管理(COSMS)に取り組んでいる。
- ・自社の安全マニュアルで講習を行っている。
- ・作業前のミーティングを行っている。
- ・現場でのKY活動やリスクアセスメントの取り組みをしている。
- ・安全確認、ヘルメット、防具(眼鏡等)安全帯着用の徹底を行っている。
- ・落下防止の柵を作る等、行動の方で気を付けている。
- ・梯子、脚立使用から、高所作業車使用に切り替えを行った。
- ・足場工事をきちんと行っている。
- ・場内清掃、整理整頓を徹底している。
- ・体力作りなどの健康維持促進を行っている。
- ・時間に余裕を持たせるように心がけている。

Q.現場の安全衛生に関し講習会(無料)で学んでみたいことは何ですか(複数選択可)。

	割合	回答数
回答あり	72.1%	30,560 (のべ36,004)
①KYやリスクアセスメントなどの実務に役立つ取組について	34.9%	14,800
②新規入場者等に対する指導方法やマネジメント等について	15.2%	6,426
③高所作業時における安全衛生法令の適用など法令に関することについて	30.2%	12,821
④その他	4.6%	1,957
無回答	27.9%	11,824
合計	100.0%	42,384

# 安全衛生に関し学んでみたいこと

Q.現場の安全衛生に関し講習会(無料)で学んでみたいことは何ですか(複数選択可)。

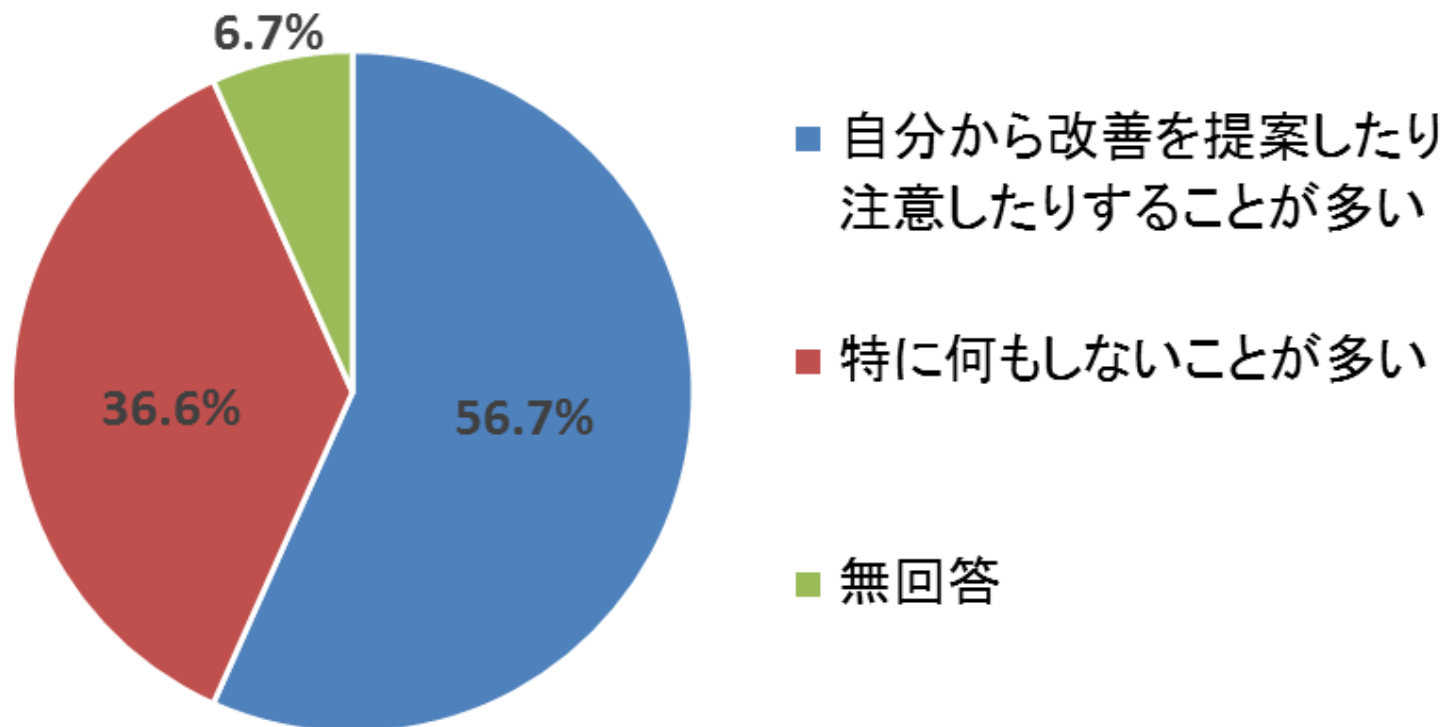
## 【「④その他」として記載された主な内容】

- ・アスベストについて
- ・地下ピット内での酸素濃度測定について
- ・自然環境中での作業の制限、有害作業について
- ・各種特別教育
- ・アンカーボルトの法令
- ・主任者講習
- ・現場での蘇生法、止血法、AED
- ・事故事例による事故原因及び対策
- ・ヒューマンエラーの実例、防止対策
- ・高齢者の現場での働き方、注意点
- ・安全でわかりやすい足場の組み方
- ・安全帯について
- ・工具、電気工具、機械取り扱い
- ・ゼネコン等、元請けからの嫌がらせの対処方法
- ・安全に作業を行う為の工期の決め方

# 不安全行動等への対応

Q. 不安全な現場や作業方法を見かけたときどうしますか。

不安全な現場や作業方法を見かけたとき「自分から改善を提案したり注意したりすることが多い」と回答した割合が56.7%、対して「特に何もしないことが多い」と回答した割合が36.6%であった。



(n = 42,384)

【不安全な現場や作業方法を見かけたとき「自分から改善を提案したり注意したりすることが多い」と回答した人(24,035人)を対象とした質問】

Q.改善の提案等を行っても、状況が改善しない場合、原因としてどのようなことがありますか(複数選択可)。

	割合	回答数
回答あり	91.2 %	21,916 (のべ27,142)
①安全な現場や作業方法に関して詳しく知らず、相手にうまく説明できないから	21.1 %	5,076
②他の作業者が安全な現場や作業方法に関し意識が希薄だから	44.2 %	10,626
③元請(又は注文者)が安全な現場や作業方法に関し意識が希薄だから	19.3 %	4,630
④金銭的な負担や工期が延びることに元請(又は自身の注文者)が消極的だから	24.0 %	5,773
⑤その他	4.3 %	1,037
無回答	8.8 %	2,119
合計	100.0 %	24,035



## 提案等しても改善しない場合の原因

Q.改善の提案等を行っても、状況が改善しない場合、原因としてどのようなことがありますか(複数選択可)。

### 【「⑤その他」として記載された主な内容】

- ・工期や予算、手間に余裕がないため。
- ・安全な作業は時間がかかるが元請業者がそれを理解しない。
- ・元請業者に迷惑かけると思い沈黙してるため。
- ・親方及び従業員が資格を取っておらず、安全講習も受けていないため。
- ・現場責任者の知識不足、経験不足、勉強不足のため。
- ・朝礼等で口頭ですまして、責任者が現場を確認する事が少ない。
- ・現実には現場作業員まかせとなっている。
- ・作業員の知識不足、安全に対する意識の欠如、指導者の力不足のため。
- ・報告・連絡・相談が互いにとれない事が一番の原因。
- ・不安全状態が、当たり前になっている。
- ・人員不足のため、改善が遅れる。
- ・外国人労働者が多く、言葉がわからないため、末端まで周知されない。
- ・業種、職種、環境などにより安全が優先できない場合がある。
- ・現場が狭くて作業スペースの確保ができないので改善できない時が多い。

# 不安全行動等を見ても何もしない理由

【不安全な現場や作業方法を見かけたとき「特に何もしないことが多い」と回答した人(15,514人)を対象とした質問】

Q.特に何もしない理由を教えてください(複数選択可)。

	割合		回答数
回答あり	93.7 %	(34.3%)	14,543 (のべ16,353)
①自分自身が進んですべきことではないから	43.4 %	(15.9 %)	6,732
②自身が安全な現場や作業方法に関してあまりよく知らないから	19.5 %	(7.1 %)	3,022
③元請(又は注文者)や他の作業者の反応が気になるから	19.4 %	(7.1 %)	3,009
④金銭的な負担や工期が延びることに元請(又は自身の注文者)が消極的だから	16.4 %	(6.0 %)	2,539
⑤その他	6.8 %	(2.5 %)	1,051
無回答	6.3 %	(2.3 %)	971
合計	100.0 %	(36.6%)	15,514

注 ( )内は全アンケート回答者数に占める割合

# 不安全状態を見ても何もしない理由

Q.特に何もしない理由を教えてください(複数選択可)。

## 【「⑤その他」として記載された主な内容】

- ・誰かがやるだろう(教えるだろう)とってしまう。
- ・安全は個人の意志で他人に言われて直るものではない。ケガは自己管理・自己責任。
- ・反感を持たれたり、言い争いになってしまうため。他業者には言いづらいから。
- ・自分の作業で忙しいから。
- ・発言をして話し合う時間が惜しい。
- ・不安全だとわかっているが、仕方なく作業してる人が多いから。
- ・逆に仕事が進まなくなる可能性があるため。
- ・元請から取引きを停止されるから。
- ・安全第一は口だけで、元請の都合、金銭面が優先されるから。
- ・作業上、不安全になる場合もあり、過剰な改善は必要ないと判断する事が多いから。
- ・職種や現場によって安全な作業方法は違うから。
- ・安全を優先しすぎて、作業がやりづらくなり、逆に危険になる事が多いから。
- ・ケガをしたことがないから。
- ・一人の作業が多いため。

# 契約時の安全経費の取扱い

Q.元請(又は注文者)との契約(安全経費)はどのようになっていますか(複数選択可)。

## 【安全経費の契約での取扱い状況】

	割合	回答数
① 書面で契約しないことが多い	41.9 %	17,740
② 必要な安全経費は、ある程度契約の中で認めてもらっている	24.3 %	10,309

## 【安全経費の見積状況】

	割合	回答数
③ 元請(又は注文者)に対し安全経費を含めた見積もりを提示したことはない	22.5 %	9,544
④ 安全経費に関し見積もりを提示したが元請(又は注文者)に断られたことがある	2.9 %	1,218

## 契約時の安全経費の取扱い

【「④安全経費を見積に入れたが元請に断られたことがある」場合(1,218人)を対象とした質問】

上記④で認めてもらえなかった安全経費があれば具体的に教えてください。

・高所作業車
・ハシゴ作業等での合番の作業時の合番の外注での費用
・足場の不足金具や足場資材(足場板他)のリース損料
・開口部段差を解消する為の資材(コンパネ、足場板、結束材)
・足場／手すり／さく／作業床等
・仮設足場の階段、ネット、仮設材、作業車の配備等の費用
・安全講習の費用
・安全帯、ヘルメット、消耗品等の購入費用
・保護具(手袋、メガネ、マスク)
・表示の看板、カラーコーン、安全ロープ
・警備員費
・近隣住民(又は注文者)の仮駐車場の確保

上記のほか、「何の経費も出してもらえない」「理解出来る人が元請にいない」など、元請側において「安全経費」そのものを理解してもらえないという意見もあった。

また、「安全経費があることも知らなかった。」という回答もあった。

# アンケート調査の概要

調査対象	建設業に従事する一人親方
調査方法	<p>○次の4団体にアンケート票の配布を依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人日本建設業連合会(20,000部)</li> <li>一般社団法人全国中小建設業協会(36,612部)</li> <li>全国建設労働組合総連合(200,000部)</li> <li>一般社団法人建設産業専門団体連合会(1,000部)</li> </ul> <p>注 ( )内は厚生労働省から団体に配布した部数</p>
調査期間	<p>○平成29年12月から翌年平成30年1月にかけて上記団体に協力を依頼</p> <p>○郵送回答 差出有効期間 平成30年12月31日まで(料金受取人払郵便の返信用葉書(裏面がアンケート用紙))</p>
有効回答数	42,384件

## Q.あなたの職種とご年齢を教えてください。

### <職種>

職種においては、「大工」(33.6%)が全体の大部分を占めている。

「大工」とは約24ポイントと大きな差があるものの、「内装工」(9.8%)、「電気工事作業員」(8.9%)、「配管工」(6.5%)、「塗装工」(5.4%)と続いている。

### <年齢>

年齢構成は、「60歳～69歳」(31.7%)が最も多く、「40歳～49歳」(23.5%)、「50歳～59歳」(20.5%)と続いている。

